

報道配布資料

平成26年(2014年)4月11日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学長 ながさか ゆうじ 長坂 祐二	附属地域共生センター 所長 かとうだ けいこ 加登田 恵子	附属地域共生センター 専任研究員 しいぎ あやこ 椎木 綾子	電話 083-928-3495
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

1. 件名

平成26年度 山口県立大学公開講座の開催について

2. 内容

	講座名	講座内容	(1)開催期間 (2)会場 (3)申込方法・〆切日等 (4)受講料
1	国際文化学部公開講座 『文化を育み、未来を創る —もうひとつの観光と交流の可能性』	①若者とさぐる防府の魅力—GISの活用による景観資源の発見 ②百歳時代を迎えて—高齢者がリードする日韓交流 ③活きている藍を楽しもう—自然発酵建てによる正藍染の世界 ④山口の染め織りに学ぶ ⑤大学生を地域に呼ぼう—富海の観光活性化をめざして	(1)6月14日(土)～7月12日(土) (2)防府市文化福祉会館 (3)別添チラシ<No.1> (4)無料 ※託児あります。
2	社会福祉学部公開講座 『福祉の知恵袋 ～将来の心配を安心に～』	①ふくしを知って、イキイキ暮らそう ②認知症高齢者を地域で支えるネットワークづくり—2025年を見据えた地域包括ケア— ③ゆっくり筋肉をほぐす運動でこころも身体もリフレッシュ ④成年後見と権利擁護—地域で安心して暮らす—	(1)6月21日(土)～7月12日(土) (2)山口市小郡ふれあいセンター (6/21・7/12) 山口南総合センター (6/28・7/5) (3)別添チラシ<No.2> (4)無料
3	看護栄養学部公開講座 『健康寿命に目を向けて ～自分のために、家族のために～』	①和食の良さを支える 大豆のパワーを見直そう ②健康寿命を延伸するための食生活 ③今日からできる。脳の活性化と心のリラックス ④転倒を予防するために	(1)7月5日(土)～8月2日(土) (2)美祢市民会館 (3)別添チラシ<No.3> (4)無料

3. 問い合わせ先

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

山口県立大学附属地域共生センター 共生教育部門

電話・FAX 083-928-3495

文化を育み、未来を創る

—もうひとつの観光と交流の可能性

会場：防府市文化福祉会館 3階4号室（防府市緑町1-9-2）

回	日時	テーマ	内容	講師
1	6/14 (土) 13:30 15:00	若者とさぐる防府の魅力 —GISの活用による景観資源の発見	身近な「ちょっといい風景」を、地域の皆さんからワークショップを通じて教えてもらっています。防府市の景観、大学生の視点、GIS(地図データや位置情報など)を利用した仕組みなどのメディア表現を組み合せると様々な発見があります。身近なところから広がる、防府の魅力について考えてみましょう。	文化創造学科 講師 くらた けんじ 倉田 研治
2	15:10 16:40	百歳時代を迎えて —高齢者がリードする日韓交流	「若者は…」「年寄り…」「韓国人は…」「日本人は…」…、そもそも誰の考えなのでしょう。多様な他者を多様に見つめることは難しいことでしょうか。多様性を気づかせてくれる異文化・異世代交流について一緒に考えてみませんか。	国際文化学科 教授 きむ へうおん 金 恵媛
3	6/28 (土) 13:30 15:00	活きている藍を楽しもう —自然発酵建てによる正藍染の世界	世界に誇る日本の正藍染め（ジャパンプルー）。伝統の灰汁（あく）発酵建ての技法を芸術作品に高めてきた富海在住の飴村秀子氏の思いと次世代「藍と愛の会」育成の動き。藍の力は、健康と環境保全、ファッションにも広がる。	「藍と愛の会」会長 日展参与 あめむら ひでこ 飴村 秀子
4	15:10 16:40	山口の染め織りに学ぶ	かつては世界各地でその土地の気候風土に合わせて行われていた伝統的な染織文化。今では新たな地域資源として注目されています。各地で行われている活動をヒントにこれからの可能性について考えてみたいと思います。	文化創造学科 教授 まつお りょうこ 松尾 量子
5	7/12 (土) 13:30 15:00	大学生を地域に呼ぼう —富海の観光活性化をめざして	大学生がキャンパスを飛び出して地域の日常と出会う。見慣れた風景も若い五感には新鮮な驚きとなる。富海史談会と山口県立大学の出会いが生む、1)富海マップ、2)多言語看板、3)富海讃歌、4)富海饅頭を紹介。	国際文化学科 教授 あんけい ゆうじ 安溪 遊地

【定員】40名(先着順)【受講料無料】※託児あり(ご希望の方は申込時にお知らせください。)

【申込方法】電話、FAX、メールまたはハガキにて、テーマ名、住所、氏名、電話番号を下記までお知らせください。

【申込受付】5月1日(木)～6月2日(月)※必着

【申込先】〒747-0026 防府市緑町1-9-2 防府市教育委員会 教育部 生涯学習課

電話 0835-23-3015 FAX 0835-38-8131 メール manaboya@c-able.ne.jp

【受講通知】講座開始約1週間前までに、ハガキでお知らせいたします。

全講座を受講された方には、「山口県立大学公開講座修了証書」を授与いたします。

講座の内容等に関するお問い合わせは、山口県立大学附属地域共生センター 電話:083-928-3495 まで

主催：山口県立大学 共催：防府市教育委員会 後援：山口県立大学同窓会桜園会

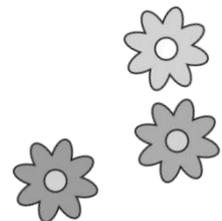


平成 26 年度 山口県立大学国際文化学部公開講座

受講申込書

- 申込受付期間は、5月1日（木）～6月2日（月）です。
- 受講申込書は、コピーも可。なお、防府市教育委員会教育部生涯学習課にも用意しております。

住 所	〒 ー
氏 名	ふりがな
電話番号 (日中連絡がとれる)	
受講予定の回(テーマ)に ○を付けてください。	1. 若者とさぐる防府の魅力—GISの活用による景観資源の発見 (6月14日) 2. 百歳時代を迎えて—高齢者がリードする日韓交流 (6月14日) 3. 活きている藍を楽しもう—自然発酵建てによる正藍染の世界 (6月28日) 4. 山口の染め織りに学ぶ (6月28日) 5. 大学生を地域に呼ぼう—富海の観光活性化をめざして (7月12日)
託児について ※利用希望の場合のみ ご記入をお願いします。	・お子様のお名前 (^{ふりがな}) ・年齢 (ー 歳)



福祉の知恵袋

～ 将来の心配を安心に ～



	日時	テーマ	内容	講師
1	6/21 (土) 13:30 15:00	ふくしを知って、イキイキ暮らそう	”ふくし”という言葉は、ずいぶんと知られるようになりました。”ふくし”とは、介護のことばかりではありません。今回は、イキイキと暮らしていくために“ふくし”を知っていただける機会となるよう、考えていきたいと思ひます。	社会福祉学部 准教授 高木健志
2	6/28 (土) 13:30 15:00	認知症高齢者を地域で支える ネットワークづくり —2025年を見据えた地域包括ケア—	認知症は、誰にでもおこる病気です。認知症とはどのような疾病で、どのような症状があるのか、まず基本的な理解をします。そして、ケアの方法や地域で支えていく方法を、皆さんとともに考えてみたいと思ひます。	社会福祉学部 教授 横山正博
3	7/5 (土) 13:30 15:00	ゆっくり筋肉をほぐす運動で こころも身体もリフレッシュ	普段の生活では動かしきれない全身の筋肉。ゆっくり気持ちよく動かしてこわばった筋肉を緩め、身体の隅々まで血液を巡らせましょう。こころも身体もリフレッシュ！元氣を取り戻しませんか。	社会福祉学部 教授 青木邦男
4	7/12 (土) 13:30 15:00	成年後見と権利擁護 — 地域で安心して暮らす —	認知症などで判断力が衰えた場合に、日常の金銭管理を適切に行ったり、医療や介護のサービス利用契約を結んだりするためには、法的な支援が必要です。暮らしの安心を守るための具体的な支援の仕組みをご一緒に学びましょう。	社会福祉学部 教授 田中耕太郎

【会場】 6月21日・7月12日 山口市小郡ふれあいセンター (山口市小郡下郷1440番地1)
6月28日・7月5日 山口南総合センター (山口市名田島1218番地1)

【定員】 50名程度 ※申し込み先着順で締め切らせていただきます。【受講料】 無料

【申込方法】 FAX、メール または郵送でお申し込みください。(裏面に受講申込書があります)

【申込締切】 6月10日(火)まで ※必着

【申込先】 〒753-8650 山口市亀山町2番1号 山口市生涯学習・スポーツ振興課 (TEL:083-934-2912)

FAX 083-934-2665 メール s-sinko@city.yamaguchi.lg.jp

【受講通知】 開講日の約1週間前までに、ハガキでお知らせいたします。

全講座を受講された方には、「山口県立大学公開講座修了証書」を授与いたします。

講座の内容等に関するお問い合わせは、山口県立大学附属地域共生センター 電話:083-928-3495まで



平成 26 年度

山口県立大学社会福祉学部公開講座

受講申込書

住 所	〒 ー
氏 名	ふりがな
電話番号 (日中の連絡がとれる番号)	
受講予定の回 (テーマ) に ○を付けてください。	1. ふくしを知って、イキイキ暮らそう (6/21) 2. 認知症高齢者を地域で支えるネットワークづくり — 2025 年を見据えた地域包括ケア — (6/28) 3. ゆっくり筋肉をほぐす運動でこころも身体もリフレッシュ (7/5) 4. 成年後見と権利擁護 — 地域で安心して暮らす — (7/12)

※ 上記 4. の講座 (7 月 5 日) は、軽い運動ができる服装で御参加ください。

寄せられた個人情報は、本事業に関する用途以外の目的には使用いたしません。

健康寿命に目を向けて



～自分のために、家族のために～

7月5日・7月12日・7月26日・8月2日 各回とも 土曜日 13:30～15:00

美祢市民会館（美祢市大嶺町東分 326-1）

定員：50 名程度

	日にち	テーマ	内 容	講 師
1	7月 5日 (土)	和食の良さを支える 大豆のパワーを見直そう	昨年 12 月、和食がユネスコ無形文化遺産に登録されました。和食には多様な食材が用いられており、大豆も和食の良さを支える重要な食材のひとつです。普段の食生活を振り返りながら、大豆の持つ健康効果を見直してみませんか。	看護栄養学部 栄養学科 教授 島田 和子
2	7月12日 (土)	健康寿命を延伸するための 食生活	健康寿命を延ばすためには、日ごろの食事や生活習慣が重要です。「健康寿命を延伸するための食生活」について、一緒に考えてみましょう。	看護栄養学部 栄養学科 准教授 弘津 公子
3	7月26日 (土)	今日からできる。 脳の活性化と心のリラックス	簡単な文章を声に出して読むと、脳の血流が良くなり認知症予防になります。また、おしゃべりは、人生の振り返りになり自己肯定感が高まります。他にもあれこれ、「今日からできる」体と心にいいこと、お話します。	看護栄養学部 看護学科 准教授 佐々木直美
4	8月 2日 (土)	転倒を予防するために	「ロコモ」という言葉をご存じでしょうか？「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」は決して他人事ではなく、その予備軍の人も含めるとおよそ 4700 万人と言われていいます。ロコモとは何か、その対策について一緒に考えてみましょう。	看護栄養学部 看護学科 教授 藤村 孝枝

- 申込方法：電話、FAX またはハガキにて、住所、氏名、電話番号を下記までお知らせください。
- 申込先：〒759-2212 美祢市大嶺町東分 326-1 美祢市教育委員会 生涯学習スポーツ推進課
【電話】 0837-52-5261 【FAX】 0837-52-2562

受講料無料

< 申込締切 > 6月16日(月) 必着



- 受講通知：講座開始約1週間前までに、ハガキでお知らせいたします。
- 全講座を受講された方には、「山口県立大学公開講座修了証書」を授与いたします。

講座の内容等に関するお問い合わせは、山口県立大学附属地域共生センター 電話：083-928-3495 まで

主催：山口県立大学 共催：美祢市教育委員会 後援：山口県立大学同窓会桜園会